

平成28年度第1回契約監視委員会

【 議事要旨 】

平成28年6月

独立行政法人中小企業基盤整備機構

- I. 日 時 平成28年6月7日（火）15：00～18：00
- II. 場 所 独立行政法人中小企業基盤整備機構 第一役員会議室
- III. 出席者 （委員）吉野委員長、内田（海）委員、内田（清）委員、  
中本委員、大槻委員  
（機構）山城財務担当理事、齊川総務部長、  
饒平名財務部長、三村監査統括室長 他

【議事概要】

1. 開会挨拶（山城理事）

2. 報告事項及び審議事項

(1) 報告事項

① 前回の契約監視委員会の意見等に対する検討・対応状況

主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 年度末（第四四半期）の調達で一者応札が増える傾向があるが、その対応として、公告期間や業務開始までの準備期間が十分に確保されるよう、具体的なフローを作成したらどうか。一者応札となった案件で次回の調達が数年後になる場合には、改善に必要な調達スケジュールがわかるフローを作成し、次回調達をする際にその教訓を活かすべきである。</li><li>・ 一者応札の類似案件として引用できるよう、一者応札のパターン毎に対応の仕方をマニュアル化し、横断的に対応すべきである。 （①年度末の調達案件の対応、②業務開始までの準備期間が必要な案件の対応 ③システムなど特定の者に優位性がある案件の対応 等）</li></ul>

② 平成27年度下期（10月～3月）公益法人に対する支出の点検について

・ 該当なし。

(2) 審議事項

① 平成27年度 中小企業基盤整備機構 調達等合理化計画の実績および  
平成28年度 中小企業基盤整備機構 調達等合理化計画(案)について、  
点検・審議した。

（※調達等合理化計画（案）の審議概要は（別紙1）参照）

② 平成27年度下期（10月～3月）契約の一者応札案件

今回の審議対象期間（平成27年度下期）の契約案件（122件）のうち  
一者応札・応募となった10件から各委員の評価により選出した5件の案  
件について、点検・審議した。

（※個別案件の審議概要は（別紙2）参照）

— 以上 —

○平成27年度 調達等合理化計画の実績の審議概要

<b>【 平成27年度中小企業基盤整備機構調達等合理化計画の実績 】</b>
主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>・平成27年度の目標は若干読みづらく、レベル感を言っているような誤解を招く表現になっているため、平成28年度の目標およびその評価基準は、明確な表現とすべきである。</li></ul>

○平成28年度 調達等合理化計画(案)の審議概要

<b>【 平成28年度中小企業基盤整備機構調達等合理化計画(案) 】</b>
主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>・平成27年度の実績で、競争性のある契約件数に占める一者応札の件数の割合が減少していることから、一者応札の件数を目標値に入れていくことには限界があるのではないかと。</li><li>・理念として、一者応札の件数ゼロを目指す一方、一者応札の件数だけでなく、質の観点も含め、検討したらどうか。</li></ul>

○個別案件の審議概要

<b>【 平成27年度 中小企業再生支援セミナーに係る業務請負 】</b>
主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 一者応札の改善策として、専門性の高い再生支援セミナーの企画部分を当該業務から外しても問題はないか。事業を円滑に進めるため、外部に依頼する内容をセミナーの運営部分に特化する考え方もあるのではないか。</li></ul>
<b>【 平成28年度 中小企業ビジネス支援サイトJ-Net21に係るメディアコンテンツ提供業務 】</b>
主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 競争性確保の観点より、「J-Net21」サイト管理運営と中小企業向けの情報発信を分割発注したことにより、請負者が変わり、コストダウンが図れていることは評価できる。</li><li>・ 一者応札の改善に向け、中小企業向けの情報発信の方法については、調達方法も含め、検討が必要である。</li></ul>
<b>【 中小機構次期ネットワークシステム構築に係る調査・分析業務 】</b>
主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事前に実施した業務の請負者に優位性がある調達案件については、随意契約も含め、いろんな手法を検討すべきであり、対外的に問われた際にも検討内容を説明できることが必要である。</li><li>・ 随意契約という結論を安易に導くべきではない。一般競争から随意契約に切り替える場合には、発注者の責任で指摘できる仕組みを構築しておくべきである。</li></ul>

【 コンタクトセンター（共済相談室）運営管理業務 】

主な意見

- ・ 一者応札の改善策として、当該業務の成果品を充実させるとあるが、より詳細なFAQを開示することで、今回の調達のように、現行業者以外の者が引いて入札を辞退してしまうことはないか。
- ・ 次回の調達までに5年の期間があることから抜本的に調達方式を検討したかどうか。例えば、代理店業務のようなやり方で、「業務を行う組織を調達する」（＝代理店を決める）というかたちはどうか。

【 中小企業越境ECテストマーケティング支援事業に係る事務局業務委託 】

主な意見

- ・ 補助金の立替えが必要なため、参加条件から等級がCランクの社を除外したとあるが、補助金の立替えはどの場面で発生するものか。
- ・ 業務の難易度が高く、大手の広告代理店が入札を辞退する中で、当該企業が中心となったコンソーシアムがその入札条件をクリアするのは理解できない。
- ・ 大手の広告代理店が入札辞退した理由が年度末で他の業務との兼ね合いとすると対策はどうか。